

科目ナンバー	C3405		要件	保育必修 教職必修	授業形態	演習	対象学生	Ⅱ A Ⅲ C D
授業科目	特別支援保育							
実施期	通年		単位数	2単位	授業 担当者	岩佐 昌英		
【科目の概要】								
様々な障がいの原因や特性を理解すると共に、障がいのある子ども一人一人の実態や発達課題を捉え、個別の支援計画・指導計画を作成する。障がい児をもつ保護者の願いやニーズを理解するとともに関係機関との連携について考え、関係者全員で課題を共有し解決する。障がい児・者を取り巻く社会的環境及び支援体制の現状を知り、その問題点を考える。								
【この科目を通して獲得を目指す力】								【関連DP】
ア	様々な障がいの原因や特性を理解し、障がいのある子ども一人一人の発達課題を把握する。							1-d
イ	障がい児の保護者や関係機関との連携の大切さを理解し、子どもに関わる様々な関係者と連携する。							2-b
ウ	障がい児一人一人の心身の状態や発達状況、社会環境を把握し、個別の支援計画・指導計画を作成する。							3-c
エ	特別支援保育の歴史や制度、障がい児・者を取り巻く社会的事象に関心をもち、諸問題に対して自分の考えをもつ。							4-d
【授業の内容】					【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	オリエンテーション(科目の概要、目指す力、履修上の連絡や注意、『障がい』の表記等について)				月 日	シラバスを熟読し、「障がい、障害、障り」の表記について考えておく。(20分)		
2	障がいの受容と障がい児の保護者の理解と支援				月 日	「障がいを受容すること」について考えておく。(20分)		
3	特別支援保育の理念と歴史				月 日	特別支援保育の理念や歴史、制度とその課題をまとめる。(30分)		
4	障がいの理解	①視覚障がい			月 日	視覚の障がいの原因や定義、特性、支援についてまとめる。(20分)		
5		②聴覚障がい			月 日	聴覚の障がいの原因や定義、特性、支援についてまとめる。(20分)		
6		③知的障がい			月 日	知的障がいの原因や定義、特性、支援についてまとめる。(30分)		
7		発達障がい	④自閉症スペクトラム障がい		月 日	各発達障がいの定義や特性、支援についてまとめ、発表する。(各40分)		
8			⑤注意欠如・多動性障がい		月 日			
9			⑥学習障がい		月 日			
10		⑦運動障がい(肢体不自由)			月 日	運動障がいの原因や定義、特性、支援についてまとめる。(20分)		
11		⑧病弱・身体虚弱、⑨言語障がい			月 日	病弱・身体虚弱や言語障がいの定義や特性、支援についてまとめる。(30分)		
12		⑩重度重複障がい			月 日	重度重複障がいの原因や特性、支援についてまとめる。(30分)		
13		⑪二次障がい			月 日	様々な二次障がいの原因と対応、支援についてまとめる。(20分)		
14	時事的話題について				月 日	障がい児に関する時事的話題をまとめ、自分の考えを発表する。(60分)		
15	前期のまとめ・振り返り 認) (獲得を目指す力の確				月 日	今までに作成した資料(振り返りシート)から、前期の学びを振り返る。(60分)		
16	特別支援保育の 実際	①個別の支援計画・指導計画			月 日	個別の支援計画・指導計画の意義と内容、構成についてまとめ、復習をする。(40分)		
17		アセスメント	②概論		月 日	アセスメントの意義と内容、支援プロセスの概要についてまとめる。(30分)		
18			③心理検査		月 日	乳幼児期に適応可能な心理検査とその活用についてまとめる。(30分)		
19			④行動観察、場面分析		月 日	行動観察や場面分析による子ども理解と支援についてまとめる。(20分)		
20			⑤相談面接		月 日	障がい児の保護者との相談面接について、事例を通して概要をまとめる。(20分)		
21		⑥摂食指導			月 日	食べる機能(摂食・嚥下)の評価や発声の指導について実習を通してまとめる。(30分)		
22		⑦医療的ケア			月 日	医療的ケアの歴史や制度、内容についてまとめる。(30分)		
23		⑧気になる子ども			月 日	「気になる子ども」への気づきの大切さとその対応についてまとめる。(30分)		
24		⑨子ども同士の関係と保護者間の理解と協力			月 日	健常児の障がいの理解や保護者間の理解と協力の大切さについてまとめる。(20分)		
25	関係機関との連携	①関係機関の概要と特別支援保育を担う人々(職種、専門家)			月 日	奈良県下を中心に特別支援保育における連携機関や職種を事例をもとにまとめる。(20分)		
26		②就学支援			月 日	小学校等への就学(移行、接続)支援についてまとめる。(30分)		
27		③園内の支援体制			月 日	園内の支援体制とについてまとめる。(30分)		
28		④理解推進・交流 ⑤障がい児の家族への支援			月 日	理解推進・交流と障がい児の家庭への支援について事例をもとにまとめる。(30分)		
29	時事的話題について(奈良県下の特別支援保育の現状を中心に)				月 日	奈良地域での特別支援保育に関する時事的話題をまとめ、発表する。(60分)		
30	1年間のまとめ・振り返り				月 日	1年間に作成した資料から、1年間の学びを振り返る。(40分)		
【教科書・テキスト】					【成績評価の方法】			
毎時、プリント教材を配付する(「シート」「資料」「振り返りシート」)。					提出物(「シート」「振り返りシート」「ミニレポート」):20%、授業への関心・意欲:20%、討議の参加・発表:20%、試験:40%			
【参考書・教材】								
毎時、資料や授業内容を記載したプリント教材を配付する(「シート」「資料」「振り返りシート」)。参考となる図書・論文等は、その都度連絡または配付する。								
【履修要件及び履修上の注意事項】								
毎時配布する「シート(その日の講義内容を整理)」と「振り返りシート(前時の講義内容の振り返り)」は、記入して毎回提出する(成績評価の対象とする)。毎時提出する「シート」の「メモ・質問」欄への記入は、成績評価(授業への関心・意欲)の対象とする。欠席した場合(公欠も含む)は、配付物を受け取り、その日の課題について指示を受ける。								
【履修上の遵守事項】								
【連絡先・オフィスアワー】								
連絡先:					オフィスアワー:			

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア ①	様々な障がいの原因や特性の理解。障がいのある子ども一人一人の発達課題の把握	様々な障がいの原因や特性を知っている。	発達途上にある乳幼児期の障がい児の特性を理解している。	障がい児一人一人の発達課題を捉えようとする事ができる。	
イ ①	障がい児の保護者や関係機関との連携の大切さの理解。子どもに関わる様々な関係者との連携	障がい児をもつ保護者の心情等の理解と協力することの大切さを知る。	障がい児に関わる関係機関との連携の大切さを理解している。	障がい児の保護者や関係機関と連携し、子どもに関わる関係者全員で課題を共有し解決しようとする事ができる。	
ウ ①	障がい児一人一人の心身の状態や発達状況、社会環境の把握。個別の支援計画・指導計画の作成	障がい児の心身の状態や発達状況の概要を知っている。	アセスメントの大切さを理解し、障がい児一人一人の心身の状態や発達状況、社会環境を把握することができる。	障がい児一人一人の個別の支援計画・指導計画を保育現場全体で考えることができる。	
エ ①	特別支援保育の歴史や制度、障がい児・者を取り巻く社会的事象への関心。諸問題に対する自分の考え	特別支援保育の歴史や制度についての知識をもっている。	特別支援保育の課題や障がい児・者を取り巻く社会的事象に関心をもつ。	特別支援保育の課題や障がい児・者の社会的諸問題に対し、自分の考えをもつ。	
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					